

上越市幼年野球大会内規（大会特別規約及び注意事項）

1 適用規則について

- (1) 本大会内規によるほかは、「2025 年度公認野球規則」「全日本野球連盟競技者必携・少年野球に関する事項」による。
- (2) グラウンドルールは、当日審判から伝達する。

2 試合回数について

- (1) 試合は 5 回戦とし、試合開始後 1 時間 15 分を過ぎて新しい回に入らない。ただし、同点の場合、時間内であれば、タイブレイク方式を実施する（無死 1、2 塁・継続打順からスタート）。
- (2) 決勝は 6 回戦とし、試合開始後 1 時間 30 分を過ぎて新しい回に入らない。ただし、同点の場合、時間に関係なく、タイブレイク方式を実施する（無死 1、2 塁・継続打順からスタート）。

3 コールドゲームについて

- (1) 5 回戦は 3 回以降 10 点差とする。決勝は 3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差とする。
- (2) 降雨等による場合、5 回戦は 3 回、決勝は 5 回で試合成立とする。なお、試合成立以前に中止となった場合は抽選とする。

4 抽選について

- (1) 決勝戦を除き、上記の試合方法で決着がつかない場合は、最終出場選手 18 人で抽選を行い、勝敗を決する。
- (2) 抽選は、両チームの選手が本塁を挟んで向かい合い、整列して次のように行う。
 - ① 審判員は抽選棒が 1 本ずつ入った 18 袋の封筒を先攻チームから打撃順で交互に選ばせる。
 - ② 18 人が選び終わったら、審判員はチーム別に回収し開封する。
 - ③ 朱印がついた棒が 5 本以上あるチームの勝ちとする。

5 選手への指示について

時間短縮のため、監督はグラウンド（ダイヤモンド）に入って直接指示を与えて良い。

6 服装・用具について

- (1) 選手は着帽し、ユニフォームまたは運動着（背番号を付ける）を着用すること。
- (2) 危険防止のため、金属スパイクを禁止する。また、打者・次打者・走者・ベースコーチは、両耳つきのヘルメットを着用すること。捕手のマスク・ヘルメット・プロテクター・レガース・ファールカップも同様とする（試合前の練習においても着用すること）。

7 投手について

- (1) 投手が変化球を投げることを禁止する。
- (2) 投球制限を設ける（大会中の 1 日の球数・・・70 球）。
- (3) 投球数については、ベンチ内にボードを用意するので、両チームの投手の球数をカウントする。

8 その他

- (1) ベンチは、組合せ番号の若い方を 1 塁側とする。
- (2) ベンチに入れる大人は、監督 1 人・コーチ 2 人・マネージャー 2 人・スコアラー 1 人の計 6 人。
- (3) 審判員への抗議は、ルールの解釈上の問題に限り、監督のみに認める。
- (4) 試合開始時刻になっても会場にこないチームは、原則として棄権とみなす。ただし、正当な理由があると主催者が判断した場合は、この限りではない。
（円滑な大会運営のため、自チームの試合開始時間 30 分前集合をお願いします。）
- (5) 上記各事項の解釈、または未記載事項については、主催者及び審判団で協議し決定する。大会関係者（参加者・保護者なども含む）は、これに従うこと。
- (6) ファール球の処理は、各チームで対応すること。
- (7) 試合終了後、ベンチ周りのゴミ等は各チームで責任をもって処理すること。

9 参加申込み事項等に虚偽の事実が判明した場合

- (1) 大会進行時に判明した場合は、その時点で没収試合とする。
- (2) 大会終了後に判明した場合は、該当チームの成績を抹消する。そのチームが 1～3 位に該当していた場合は、空位とする。

10 参加チームからの協力について

- (1) 各チームから審判 2 人と記録員 1 人を出すこと。主審は原則としてトーナメント番号の大きいチームが担当する。
- (2) 審判の際、随時給水すること（飲料は、各自で用意してください）。
- (3) 審判の服装は、白色のワイシャツまたはポロシャツに紺色または黒色のズボン、帽子も紺色または黒色が望ましい。
- (4) 鳴り物を使用しての応援は禁止とする。